

### みずほCustomer Desk Report 2018/09/19号(As of 2018/09/18)

国際為替部 為替営業第二チーム

#### 【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	111.79 AUD/USD
TKY 9:00AM	111.69	1.1669	130.32	1.3146	0.7144
SYD-NY High	112.39	1.1725	131.49	1.3173	0.7224
SYD-NY Low	111.66	1.1652	130.30	1.3120	0.7144
NY 5:00 PM	112.36	1.1670	131.08	1.3147	0.7219
NY DOW	26,246.96	184.84	日本2年債	-0.1100	0.00bp
NASDAQ	7,956.11	60.31	日本10年債	0.1100	0.00bp
S&P	2,904.31	15.51	米国2年債	2.8051	2.51bp
日経平均	23,420.54	325.87	米国5年債	2.9455	5.33bp
TOPIX	1,759.88	31.27	米国10年債	3.0561	6.29bp
シカゴ日経先物	22,950.00	▲ 105.00	独10年債	0.4805	2.40bp
ロンドンFT	7,300.23	▲ 1.87	英10年債	1.5680	3.45bp
DAX	12,157.67	61.26	豪10年債	2.6515	3.50bp
ハンセン指数	27,084.66	151.81	USDJPY 1M Vol	6.47	0.10%
上海総合	2,699.95	48.16	USDJPY 3M Vol	7.14	▲0.02%
NY金	1,204.80	▲1.00	USDJPY 6M Vol	7.63	0.00%
WTI	68.70	▲0.21	USDJPY 1M 25RR	-0.60	Yen Call Over
CRB指数	190.56	0.92	EURJPY 3M Vol	8.65	0.00%
ドルインデックス	94.64	0.14	EURJPY 6M Vol	9.00	▲0.01%

#### 【昨日の指標等】

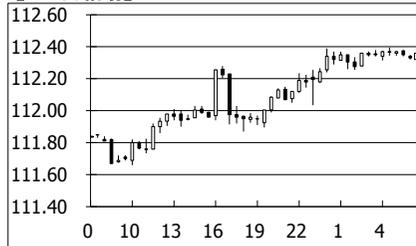
Date	Time	Event	結果	予想
9月18日			特になし	

#### 【本日の予定】

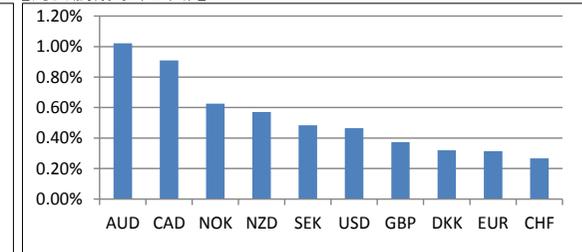
Date	Time	Event	予想	前回
9月19日	08:50	日 貿易収支	8月 -¥483.2B	-¥231.9B
	-	日 日銀金融政策決定会合 当座預金政策金利	-	-0.1%
	-	日 黒田日銀総裁 記者会見	-	-
	17:30	英 CPI(前月比/前年比)	8月 0.5%/2.4%	0.0%/2.5%
	17:30	英 PPI(前月比/前年比)	8月 0.2%/2.9%	0.0%/3.1%
	21:30	米 住宅着工件数/建設許可件数	8月 1,238K/1310K	1,168K/1303K
	21:30	米 経常収支	2Q -\$103.4B	-\$124.1B

東京	アジア時間早朝に米国より対中追加関税(中国製品に2,000億ドルへの関税)が発表されるも検討していた25%の関税率を10%に留めたことが好感されてか、為替相場の反応は限定的。東京時間は111.69レベルでオープン後111.66を底に、堅調な日本株や中国株を横目にドル円相場もじりじりと上昇。午後には112円台に乗せる場面もあり、日本株市場の引け後にはストップ高を巻き込みながら112.26レベル迄上昇して海外市場へ渡った。
ロンドン	本日ロンドン市場ドル円は112.26レベルでオープン。調整売りに下落したユーロ円につられ、111.87レベルまで値を下げた。その後、欧州株がほぼ全面高、さらに米10年債利回りが3.00%付近まで上昇した事を背景にドルが買われ112.12レベルでNYへ渡った。ホドドルは横ばい、1.3164レベルでオープン。Brexitに関するニュースも無く材料難の中小幅推移となり、1.3146レベルにてNYへ渡った。(ロンドンツールフリー 00531 444 179 丸野)
ニューヨーク	昨夜NY市場終了後に米国が中国に対し2000億ドルの関税を24日から掛ける事を正式に発表したが、まずは25%ではなく10%であったことや、発表から事前に予想されていたこともあり、円買いはさほど強まらず、日経平均が堅調に推移し円売りが強まり、米金利も上昇する展開に112.39まで上昇し、その後も中国が報復関税を米国と同時に発動とのヘッドラインを受け再び円買いが一時的に強まったが、ドル円は高値圏での推移が続き、112.12でNYオープン。朝方は中国側が米国をWTOに提訴し、正式に600億ドルの報復関税を24日から賦課することが発表されたが、米金利が更に上昇し、株式市場も大幅に上昇する動きに112.39まで上昇する。その後は利益確定の売りで調整されるも、米金利、株式市場が共に上昇する中、押し目買いに112.39まで再び上昇する。終盤に掛けては、高値圏での推移が続き、112.36でクローズした。一方、ユーロ円が先週の高値131.12を抜けて上伸する動きに連れて海外市場で1.1718まで上昇したユーロドルは、1.1707でNYオープン。朝方は一旦ドル買いが落ち着いたことから、再び1.1725まで上昇するが、その後は米金利上昇を背景としたドル買いに1.1652まで反落する。午後は、新規材料に欠ける中、狭いレンジでの推移が続き、1.1670でクローズした。(NY井上)

#### 【ドル円相場】



#### 【対円騰落率(日次)】



#### 【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.70-112.70	1.1620-1.1720	130.50-131.50

#### 【マーケット・インプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は上昇した。米国の対中制裁関税への懸念がやや後退している中、米長期金利が堅調に推移し、約4ヶ月振りの高水準をつけたことを受け、ドル買いが優勢となり、ドル円も112円台前半まで堅調に推移した。本日のドル円相場は底堅く推移すると予想。米中貿易問題を巡る懸念が後退し、昨日米国株式市場が反発したこともあり、本日は日経平均の動向を睨みながら、ドル円は底堅い展開が継続しそうだ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: ウー・鶴田